

第 17 回日本スカウトジャンボリー 大会概要・参加申込・参加隊編成について (3)

平成 29 年 9 月 30 日
(10/1 修正点は青で記載)
(10/13 修正点は青で記載)
県連盟コミッショナー
中島 清行

来年 8 月に実施される、第 17 回日本スカウトジャンボリーの予備申込が 10 月末日となっています。
業務多忙のため、連絡が遅くなってしまいましたが、参加申込及び参加隊の編成等についてお知らせします。

1. 第 17 回日本スカウトジャンボリー (17NSJ) の概要

- ・期間 大会期間：平成 30 年 8 月 4 日(土)～10 日(金) 6 泊 7 日
スタッフ：平成 30 年 8 月 2 日(木)～11 日(土)
- ・場所 「りふれっしゅ村鉢ヶ崎」 石川県珠洲市蛸島町
14NJ と同じ場所
- ・参加費 ¥40,000 円 (予定申込時 ¥10,000、確定申込時 ¥30,000)。この他に派遣団費用がかかります。
- ・行事日程 設営 8/4～8/5
開会式 8/5
プログラム 8/6～8/9
ジャンボリー大集会、宗教儀礼 8/7
閉会式 8/9
撤営 8/10

※ 詳しくは、「第 17 回日本スカウトジャンボリー基本実施要領」をご覧ください。

→ https://www.scout.or.jp/17nsj/_userdata/17nsj_outline.pdf

2. 17NSJ への参加について (県連派遣団としての参加条件は、基本実施要領とは多少異なっています(下線部)。)

・スカウトの参加条件

- ① 平成 30 年度の加盟登録があり、8 月 4 日～10 日までの 6 泊 7 日間のキャンプ生活に十分耐えうる「健康とキャンプ技能と精神」を有し、大会の全期間参加できること。
- ② ボーイスカウト・ベンチャースカウト共に、①の資格を有すると隊長が認めたる
- ③ 現時点で「くまスカウト」の小学 5 年生は、確定申込時に①の資格を確認し、追加申込で対応する。

・参加隊指導者・大会運営スタッフの参加条件

参加隊指導者は、BS 及び VS スカウトの訓育を託するに足る品性と経歴を有する者で、更に下記の条件に適合し、県連盟が「参加が適当」と認めたる者。

- ④ 隊長は、25 歳以上で、ウッドバッジ研修所 BS または VS 課程を修了していること。
- ⑤ 副長は、20 歳以上で、ウッドバッジ研修所 BS または VS 課程を原則修了していること。
- ⑥ 隊長補は、18 歳以上で、ボーイスカウト講習会、キャンプ講習会を修了していること。
- ⑦ 大会運営スタッフは、ローバースカウト、指導者、県連盟の役員等とする。

3. 17NSJ の参加隊の編成について

・参加隊の所属

茨城県連の参加隊は、茨城県連派遣団に属する。(大会運営スタッフも派遣団に属する。)

・参加隊の編成区分

| | | | |
|-----------|----------------------|----------------------|---|
| 自団の隊のまま参加 | 単独団で隊を編成 | ⑦ | |
| | 他の団と合同で隊を編成 (混成隊) | 現隊の班のまま参加 | ① |
| | | 他の隊の班と混成班を編成 して参加 | ② |

※以上 ㊦～㊩の参加方法がある。(ただし、茨城県連は㊩を選択していないので、㊦～㊨となる)

・参加隊の編成

- ㊰ 各県ごとに参加隊の割当があり、茨城は6コ隊(240名)である。
- ㊱ 参加隊は、ボーイスカウトとベンチャースカウトの合同で編成する。(BS と VS は別個に班を編成)
- ㊲ 1つの団で40人の隊が編成できる場合は、単独団で参加隊とする㊦。
- ㊳ 複数の団で編成する「混成隊」は、原則「地区」を単位として編成する。(単独の地区、複数の地区のいずれか) ㊧㊨
- ㊴ 参加隊の編成にあたっては、各地区において、担当コミッショナーの主導のもとで、各隊隊長との協議により編成する。
- ㊵ 1つの地区内だけでは編成ができない場合や特別

の事情がある場合は、県連が設置する17NSJ 支援委員会において、当該担当コミッショナーからの意見を尊重し、隊を編成する。

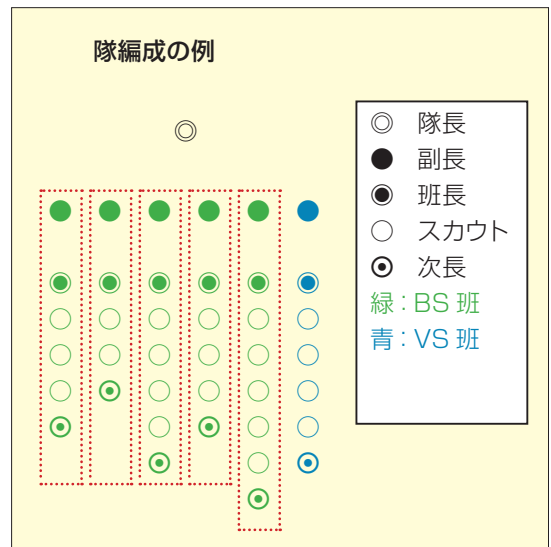
・参加隊の構成と人数

- ㊶ 1コ隊の最大人数は、40名(スカウト+指導者)。これを超えることはできない。
- ㊷ スカウト班編制の基本
 - ・BS は、「自団の隊のままで参加」が原則であるため、各所属隊での班編制が基本となる。(右図の赤の点線)
 - ・1コ班は、4名～8名とし、4名に満たない班は、他隊の班との合同で4名～8名となるよう班を編成する。
 - ・これは、17NSJ プログラム(ゲーム)の考え方が、最小4名～最大8名となっているため。
 - ・1コ隊あたりの、班の総数についての記述はないが、最大でも6班であろう。(隊サイトの広さを考慮して班数を設定)
 - ・VS の班編制については、特にBS のような条件(㊶参照)はないが、地区で既設の活動チーム等があれば、それを活用する。
 - ・班には「班長」と「次長」を置く。
- ㊸ VS スカウトについては、特にスカウトが所属する隊の指導者参加の制約はないが、スカウトを他団の指導者に預けるということの意味と、預けられた側の負担と責任について、十分な配慮と支援を手当することが望まれる。班には「班長」と「次長」を置くが、上級班長は班長・次長に任には就かない。
- ㊹ ベンチャースカウトは、BS の班には入らない。VS は、隊指導者(ベンチャー担当副長)の指導のもと、参加隊の運営に協力し、BS のプログラム活動やキャンプ生活を支援することで、自ら隊活動の楽しさを体感しながら後輩のBS に範を示し、彼らの上進意欲につなげる。
- ㊺ 参加隊には、上級班長を1名置く。上班はベンチャースカウトとし、ベンチャー班に在籍する。
- ㊻ 参加隊には、「隊長」と「副長」を置く。「副長補」については、任意。参加隊の指導者の数は8人程度とする。
- ㊼ また、女子スカウトがいる参加隊については、隊指導者として、女性指導者を必ず置かなければならない。
- ㊽ 混成隊の指導者について。
 - ・ボーイスカウトが参加している団については、参加しているスカウトの団のBS 隊の指導者が、大会の全期間(往復の移動を含む)必ず参加隊の指導者として参加していることが、スカウト参加の条件となる。(右上図の赤の点線)
 - ・つまり、大会期間中にスカウトが参加しているにもかかわらず、その所属団の隊指導者が、その場にいないという状態を作らないということ。
 - ・所属BS 隊指導者が参加できない場合は、所属団の有資格の指導者を、団として参加指導者を出せない場合は、担当地区コミッショナーに要相談。
 - ・基本的に指導者の交替参加はない。

※右上図のように、各団から参加する指導者は、原隊の役務に関係なく、基本的に「副長」の任に就く。

※参加隊の隊長は、参加隊を構成する各団の参加指導者の中から互選により選出する。

※参加隊の副長は、所属団の班を担当するのが適当であるが、そうでない場合も生じる。



今回のジャンボリーの「自隊のままでの参加」とは、要は「参加隊の中には、スカウトが所属する団の指導者がいる」という状態を確保すること。

その点が、これまでの「派遣隊」とは大きく異なる点。

・参加隊のサイトの割り当て

- ③ 参加隊の隊サイトは、40人当たり750㎡(27m四方)を1区画として割り当てられる。
- ④ 40人に満たない場合は、40人を超えないように、他の参加隊とサイト(区画)を共有する。
この調整は、県連盟において行う。(他県との共有の場合でも、県連盟が窓口となって協議する。)
- ⑤ 配給等については、隊単位ではなく「区画」単位で行われる。(食材、薪等)
- ⑥ 茨城の各参加隊は、隣接するサイトになるように要望をしていく。

・参加隊の事前訓練

- ③ 参加隊の事前訓練は、参加隊の指導者により行われる。特に混成隊については、従来の派遣隊ではなく、原隊参加の形態を取っていることの意味を汲んで、実施する。
- ④ 混成班については、より一層の「班」の仲間意識を高めることが必要であることから、月々の集会等においても「合同隊集会」「合同班集会」等の機会を設けることを推奨する。

4. 17NSJの大会運営スタッフについて

・募集人員

・大会運営スタッフは、各県ごとに参加割当があり、茨城は42名の参加が求められている。(1区画×7人)。

・大会運営スタッフの奉仕部署

奉仕先の部署は・・・

・大会本部

- ・総務部 ・広報部 ・プログラム部 ・全体プログラム部
- ・安全・救護部 ・輸送部 ・会場運営部 ・配給・食堂部
- ・売店部

・サブキャンプ(庶務班、プログラム班、安全・救護班、施設管理班、配給・食堂班)

・県連派遣団本部(基本は県連役員を中心に編成)

・参加申込みに際して

- ③ 全期間参加できることが原則。(これまでのような「交替参加」はない)
- ④ 必ずしも希望する部署に配属されるとは限らない。(第1希望から第3希望を明記して申し込む)
希望部署に関連する職業や特技、特殊技能等があれば、希望が通りやすいので、必ず明記する。
- ⑤ 参加交通手段は、従来の大会の通り、県連で用意したバスで行くか、個別の手配で行くか。
これについては、確定申込の際の確認となる。
個別の手配の場合でも、5.にある「派遣団経費」から交通費等を除いた額が徴収されます。

5. 17NSJの参加費について

・参加費は「大会参加費」と「派遣団経費」の2種類があります。

◎大会参加費

① ¥40,000

(予定申込時 ¥10,000、確定申込時 ¥30,000)

② 経費の内訳

- ・諸準備から報告書までの経費 ・大会中の食費(ただし米は含まない) ・炊事等の燃料費
- ・配付資料、参加章等の費用 ・会場の設備費及び運営費 ・会期中の救護衛生費
- ・賠償責任保険の保険料 ・その他(※場外プログラム費用は含まない)

◎派遣団経費

① ¥40,000以上(16NJ時は、¥36,000) ※バス代の大幅な値上げのため。

(確定申込時に大会参加費とともに納入する)

② 経費の内訳

- ・参加者の交通費 ・参加隊の資機材(野営、プログラム等)輸送費
- ・県連キャップ・チーフ等 ・移動時の食費 ・交通傷害保険 ・事務処理費用
- ・派遣団本部運営費 ・その他

※バス代については、昨今の高速バス等の事故多発により、運行規制が強化されたため。大幅値上げ。
東京・埼玉で140万円(1台につき)、40人乗車で、1人あたり¥35,000。

※最新情報・茨城見積り結果→約110万円(1台につき)、40人乗車で、1人あたり¥27,500か。

6. 17NSJの参加申込について

・申込は、「参加予定申込」と「参加確定申込」の2段階

◎参加予定申込(参加隊関係)

①スケジュール

- 地区コミッショナーは、隊長への説明会を行う。
- 隊長は、所属する対象スカウトとその保護者への説明会を行い、参加者を募る。
- 団は、団内指導者に対して説明会を行い、参加隊指導者や大会運営スタッフを募る。
- 団は、参加申込書に必要事項を記入し、**10月23日(月)**までに、担当地区コミッショナーに提出する《様式 B-①》
- 参加費(¥10,000)は、参加予定申込人数分を10/31までにまとめて、各団が納入する。

②担当コミッショナーは、10/27までに、各地区で「参加隊」を仮に編成し、県連事務局に提出する。

- 他地区との調整が必要となる場合は、10/27までに宮田17NSJ支援委員長に連絡する。
- 参加隊は、11月に開催される支援委員会において確定する。→日連に申し込む。

◎参加予定申込(大会運営スタッフ)

①スケジュール

- 参加希望者は、様式 K により、県連事務局に10月31日(火)正午までに、参加予定申込費用の¥10,000を添えて申し込む。

◎参加確定申込

①スケジュール

- 後日連絡(日連からの連絡があり次第)。

申込→隊編成のスケジュール

| | |
|-------|---|
| 9/30 | 資料配付 ↓ (隊長説明会) ↓ (各隊で説明会 &参加者募集) |
| 10/23 | 申込書を地区コミに提出 ↓ (参加隊編成) |
| 10/27 | 隊編成を県連に提出 |
| 10/31 | 参加費納入 ↓ (参加隊編成決定) |
| 11/上旬 | 各地区に通知 ↓ |
| 11/30 | 日本連盟に申込み |

7. その他の情報(9/15段階の情報です。今後変更・修正は多々ありそうです。)

・サブキャンプについて

- ③ 茨城の参加隊は、第2サブキャンプ(2SC)の所属となり、配置エリアは「A」エリアである。
(2SCという名称ではなく、ASC(Aサブキャンプ)という名称かも)
- ④ 派遣団本部とサブキャンプ本部のスタッフは、当該県連盟の参加隊所属のサブキャンプで生活する。
- ⑤ サブキャンプと県連盟派遣団本部のスタッフの食事は、各サブキャンプ食堂班による給食。
(日連文書 H29-055号を参照)
- ⑥ 外国参加者については、国際交流の促進のため、各サブキャンプの参加隊へ少人数に分散して配属する予定。各国の配属は姉妹都市等を優先していくので、情報提供を。
- ⑦ 配給の単位については、サブキャンプでの小分けや、区画に対して配給した後に隊・班への小分けが可能のように、4人分を基本に計画する。

・17NSJ見学対応(案)

①まだ「案」の段階ですが。。。。

②対象:加盟員・非加盟員

③見学日時:

8月5日(日)13:00~21:00*午前設営、夜間は開会式

6日(月)9:00~16:30

7日(火)13:00~21:00*午前信仰奨励、夜間の大集会は人数制限

8日(水)9:00~16:30

9日(木)9:00~21:00*夜間は閉会式

④見学費:1,000円(未就学児無料)*1回入場可能*地元住民は別途招待

⑤参加費に含むもの

- ・蛸島漁港の駐車場
- ・蛸島駐車場⇄会場間のシャトルバス
- ・見学者キット(見学者識別ワッペン、会場図を含めたA3程度のパンフレット)
- ・見学者参加可能プログラムへの参加(別途検討)

⑥受入人数:1日あたり2000人程度

⑦申込方法:インターネットを通じて参加費納入とともに事前申込みを行う(調整中)

- ㊤ 入場方法：車両を利用する場合は蛸島漁港の駐車場を利用し、会場までシャトルバスで入場する
- ㊦ 食 事　：見学者が持参するか、場内の売店を利用する
- ㊩ 宿 泊　：見学者が自己手配する（大会では宿泊手配は行わない。会場内では宿泊出来ない。）